

2月定例山行 恐羅漢山 (1346m) 安芸太田町戸河内

2月6日(日) ☆天候：晴れ

参加者15名 C L滝 史郎 S L宮木一民

松尾、若木(一)、三重(成)、三重(典)、三村、川村、熊谷(修)
坂井、安永、杉山、花房、中島(恵)・中島(靖)・会友

コースタイム

県庁北 7:40⇒広島 IC⇒戸河内 IC⇒戸河内道の駅⇒9:30 牛小屋高原
10:00→夏焼峠→13:00 恐羅漢山頂→13:20[昼食]14:10→
15:00 牛小屋高原 15:20⇒戸河内 IC⇒広島 IC⇒17:10 県庁北

報告

1月いっぱい寒くて雪がよく降ったのでかなりの積雪があった。しかしこの数日暖かくなり、牛小屋高原までマイクロバスは楽に入れた。天気は良く、寒くなく絶好の雪山日和であった。雪は多かったが踏まれた跡を辿ったのでワカンはなくとも歩くことができた。ワカンの練習も兼ねて参加者の多くには、少し歩いた後からワカンをつけてもらった。

牛小屋高原で積雪は1.5m程あった。夏焼峠までの道は途中から夏道と違っていたが、踏跡と赤いテープで間違えることない。峠の道標は雪に埋もれて

見つけることはできなかった。夏焼峠から恐羅漢山山頂までの尾根道も夏道とは少し違うところが多かったが、踏跡がしっかりついていて、天気が良くて気持ちよく歩けたが、慣れな

い雪道で、ワカンをつける時間もかかり、山頂まで時間がかかってしまった。

山頂からの展望は素晴らしい。雪の中に頭を出していた恐羅漢山の標識を前に集合写真。昼食は風を避けて少し北へ下ったところでとった。三浦さん差し入れの甘酒を温めておいしくいただいた。

下山は楽々、雪とたわむれながらである。しかし予定の立山尾根でなく、間違えて一つ南の尾根を下りてしまった。スキーのゲレンデを横切って全員無事牛小屋高原に着いた。

(記 滝 史郎)

